

KULMS の「過去の授業の閲覧について」

【ご意見・ご要望】(投稿日:2026 年 7 月 7 日)

KULMS の運用について、以下の通り意見を申し上げます。

KULMS の「過去の授業の閲覧について」の欄には「学生は、過去年度の授業サイトを閲覧できません」と記載されておりますが、このような運用では来年度以降に過去年度の授業資料を見返し復習することができなくなってしまうと思います。

しかし、来年度以降に受講する授業が過去年度と関連した内容を扱う場合などでは、過去の授業資料を見返すことによって、新たな知見を得られたり理解が深まったりすることは多々あります。そのため、授業資料の閲覧が本年度のものに限定されてしまうことで、主体的で通時的な学びが妨げられてしまうのではないかと懸念しております。

現時点では KULMS が 1 年目のため特に支障は出ておりませんが、今後の学びを考慮し、これまでの履修授業のデータにアクセスできるようなシステムの改修を進めていただきたく存じます。

【回答】(回答日:2026 年 8 月 20 日)

(回答部署:学務部教育情報推進課)

KULMS のご利用および運用の改善に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

過去の授業資料にアクセスし、復習や今後の学習に役立てたいというご要望の趣旨については、深く理解いたしました。

しかしながら、結論から申し上げますと、ご要望いただいている「学生による過去年度の授業サイトおよび授業資料の常時閲覧・システム改修」に対応することは、法令遵守(コンプライアンス)の観点から非常に困難な状況にあります。

授業資料には他者の著作物が含まれることがあり、LMS でのデータ配布は著作権法第 35 条により「授業の過程」に限定して例外的に認められています(利用にあたっては大学が学生1人あたりで定められた年間補償金を支払っています)。

そのため、授業終了後(翌年度以降)も継続して資料を閲覧できる状態にしておくことは、特例の範囲を超えて著作権侵害となるおそれがあり、著作権者の利益を害することにも繋がりがねません。

このような著作権者の権利を守るために定められた法令を遵守する観点から、KULMS では「学生は過去年度の授業サイトを閲覧できない」という厳格な運用とさせていただきます。

【学生の皆様へのお願い】

今後の復習や関連科目の履修に向けて過去の授業資料を活用されたい場合は、当該授業が開講されている年度内(サイトが閲覧可能な期間内)に、必要な資料を各自でダウンロードし、保存・管理していただきますようお願いいたします。

資料の保存先としては、ご自身の PC やタブレット等の端末内への格納に加え、今年(2026年)4月より運用を開始いたしました「学生用 Google Workspace」内の Google ドライブの活用もご検討ください。開講年度内に入手した授業資料をご自身のアカウントの Google ドライブ内にフォルダ等で整理して保存しておくことで、翌年度以降も自身の「学習用アーカイブ」としてアクセスし、復習などに役立てることができます。

なお、個人が自身の学習(復習)のために資料をダウンロードし、自身の PC や学生用 Google ドライブなどの個人領域に保存して利用する行為は、著作権法上の私的使用のための複製(第30条)に該当し得るものと考えられます。

しかしながら、この「私的使用」の範囲を逸脱した以下のような取り扱いは、著作権侵害に該当するおそれがあります。以下に代表的な例を挙げますが、これらに限られるものではありません。学習用データの管理には十分ご注意ください。なお、学習用データの保存や取扱いに関して不明な点やお困りのことがございましたら、学務部教育情報推進課までお問い合わせください。

- ・ 第三者への無断譲渡・送信
同じ大学の友人や後輩であっても、ダウンロードした資料をメールやメッセージアプリ(LINE など)を通じて共有・配布すること。
- ・ インターネット上での公開
資料のデータを SNS やブログ等へアップロードすることや、クラウドストレージの共有リンクを他者がアクセスできる状態で掲示すること。
- ・ 許可のない二次利用や転載
資料の一部または全部を、ご自身の公開用 Web ページや外部向けの発表資料などに無断で転載・流用すること。

■ 学生用 Google Workspace マニュアル

Google ドライブ等、各機能の詳細な利用方法につきましては、以下のマニュアルをご参照ください。

<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/stgwman>

法令遵守に伴う運用によりご不便をおかけいたしますが、著作権を保護しつつ安定した教育環境を継続するために不可欠な措置である旨、何卒ご理解とご協力を

願ひ申し上げます。